
black,after

MEBIUS

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

black , after

【Nコード】

N8003Y

【作者名】

MEBIUS

【あらすじ】

世界を救った英雄、南光太郎・仮面ライダーblack。彼が如何にして絶望し、恐怖の魔王へと成り果てたのか。

（前書き）

石ノ森章太郎作『仮面ライダーblack』、その後を、短い妄想ながら描いてみました。

世界を救った英雄を殺すには、たった一発の銃弾と、一人の裏切りがあれば十分なのだ。

銃弾は特別製なんかじゃなくて良い。普通の鉛の弾頭で良い。

裏切りは彼の愛する者で良い。守ってきた大切な者で良い。

必死の戦いの終わる頃、彼が疲れ果てて立ち尽くす頃、その身が異形の戦士から人の形へと戻った時。その時に彼の背中を撃てば良い。変貌を終えた皮膚が弾け、血の川を氾濫させ、痛みの電流を全身に走らせてやる。それだけでいいのだ。

仮面ライダーblackを殺した弾丸は、一人の少女によるものだった。彼女は秘密結社ゴルゴムに立ち向かう抵抗組織の一人で、怪人に誘拐され命の危機に陥った寸前で、仮面ライダーblackがやつとの思いで救い出したのだ。彼女は南光太郎を兄のように慕い、また南光太郎も彼女を本当の妹のように　嘗て失った義妹・秋月杏子と重ねて、大切に想っていた。

しかし、間近で人間が変貌するその瞬間を　南光太郎と言う人間の表皮を打ち破って現れる異形の怪物を直視しまった少女の心は、一瞬にして砕け散り、理性を失った。彼女は発狂し、手に握った拳銃の引き金を引いた。戦い終えて手を差し伸べようと振り返ろうとした、南光太郎の背に向けて。

その・45口径の弾丸は容易く肉を引き裂くと、南光太郎の体を吹き飛ばし、地面に打ち付けた。心を破壊し、感情の波で身の内を満たした。

ああ、俺は何の為に、全てを犠牲にして戦ってきたのだろうか？

ああ、オレは何の為に、この命を削って戦ってきたのだろうか？

ああ、おれは何の為に、この身を化物へと変えて戦ってきたのだろうか？

それは人間の為、愛する者の為。皆が生きる平和と幸せを守る為。

なのに、どうして？

その瞬間に、南光太郎は狂った。終わりの見えない戦い、失われていく仲間達の命、裏切りの弾丸。そして、未来のビジョン。

そうか。南光太郎は理解した。未来の魔王が何故、人間を殺し、自分に忠実な怪人だけの世界を作り上げようとしたのか。

それは、失う事、裏切られる事を恐れたからだ。これ以上傷付きたくなかったからなのだ。間違いない筈だ。何故ならば、それが今の俺の思いだからだ。

南光太郎は立ち上がると、少女を見やった。恐れに駆られた彼女の額からは赤い線が一条流れ、その目に命の輝きは無かった。

その瞬間、南光太郎と言う人間は死んだ。仮面ライダーblackと言う英雄は死んだ。残るはそれらの体をぶち破り、それらを食らい尽くして現れた漆黒の化物。辺り一面を焼き付くスオーラの閃光を放ち、全ての者・物を恐怖によって支配する怪物。

魔王はこうして生まれたのだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8003y/>

black,after

2011年11月23日20時51分発行